MAX®

電子タイムレコーダ

ER-210S

取扱説明書

目　次

1 ご使用上の注意　〈1ページ〉
2 お使いいただく前に　〈5ページ〉
　付属品の確認
3 ER-210Sの特長　〈6ページ〉
4 各部の名称とはたらき　〈7ページ〉
　外観と時計表示
5 日常のタイムカードの使い方　〈8ページ〉
6 早出／残業ボタンの説明　〈9ページ〉
7 フロントカバーの開け方・閉め方　〈11ページ〉
8 設定キーボード部の説明　〈12ページ〉
9 各設定の基本操作　〈13～20ページ〉
　●締日の変更
　●時計の合わせ方
　●遅刻を区別したい
　●早退を区別したい
　●日付変更時刻の変更
　●西暦年月日の設定
10 保守　〈21～24ページ〉
　●インクリボンの交換方法
　●こんな時には
　●エラー表示と原因
11 商品仕様　〈25ページ〉
12 保証書とアフターサービス　〈26ページ〉
　アフター拠点一覧　〈裏表紙〉

●締日を月末にしたい時は「31日」と設定してください。

●ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。
●この取扱説明書と保証書は必ず保管して下さい。
●この取扱説明書の内容を無断で転載することは禁じられています。
●本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

このたびは、マックス電子タイムレコーダをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用の前に本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

ご使用上の注意

■表示について

この取扱説明書および商品には、本機を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな表示を使用しています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警 告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定され、絶対に行ってはいけないことが書いてあります。
⚠ 注 意	取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性が想定され、絶対に行ってはいけないことや、物的障害のみの発生が予想され、絶対に行ってはいけないことが書いてあります。

お願い 本機が故障し修理が必要になることが想定される操作や、現状復帰するために、リセットなどの操作が必要になるので絶対に行ってはいけないことが書いてあります。

メモ 操作上のポイントおよび知っていると便利なことが書いてあります。

参照 取扱い説明書のページが異なる場合に参照するところが書いてあります。

■絵表示について

△ 記号は「気を付けるべきこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な注意内容です。

⊘ 記号は「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は、具体的な禁止内容です。

● 記号は「しなければいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な指示内容です。

ご使用上の注意

⚠ 警 告

- 本機は絶対に分解または改造しないでください。
  火災、感電、故障の原因になります。

- 本機の内部に指、ペン、針金などの異物を差し込まないでください。
  故障や感電、けがの原因になります。
- 電源は直接コンセントから取り、タコ足配線はしないでください。
  火災の原因になります。
- 電源コードの上に重たいものを絶対にのせないでください。
  コードに傷が付いて、火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
  感電の原因になります。
- 水、薬品などが本機にかからないようにしてください。
  故障や火災、感電の原因になります。

- 電源はAC100V専用コンセントを使用してください。
  100V以外の電源を使用すると、故障や火災、感電の原因になります。

- 万一内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントからすぐに抜いて販売店に修理を依頼してください。
  そのまま使用すると故障や火災、感電の原因になります。
- 故障のまま本機を使わないでください。
  煙が出ている、変な音やにおいがするなど故障のまま使用すると火災、感電の原因になります。
  電源プラグをコンセントからすぐに抜いて販売店に修理を依頼してください。

ご使用上の注意

⚠ 注 意

- プリンタヘッダには絶対に絶対にさわらないでください。
  印字直後のプリンタヘッダは高温になっており、やけどの原因になります。

- 大きな容量を必要とする機器(冷暖房機器、冷蔵庫、電子レンジ、OA機器等)とコンセントを共用しないでください。
  電圧が下がり、本機が誤動作する可能性があります。
- 紙や布を本機の上にかぶせたり置いたりしないでください。
  火災や故障の原因になります。

- インクリボンを交換する際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
  本機が不意に動作した時、けがの原因になります。
- 長時間使用しない時は、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 設置場所を移動させる時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
  無理をするとコードが傷つき、火災、感電の原因になります。

- 電源プラグは定期的に清掃してください。
  長い間にホコリなどがたまり、火災や故障の原因になります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらずに必ず電源プラグを持って抜いてください。
  コードが破損して火災や感電の原因になります。
- 本機は必ず水平に設置してください。
  ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に設置しないでください。
  倒れたり台から落ちたりして、けがや故障の原因になります。

ご使用上の注意

お願い 本機のトラブルを避け、故障を未然に防止するために、下記の事項を必ず守ってください。

●トラブルの原因になりますので次のような場所では使用及び保管をしないでください。

1．直射日光の当たる場所やヒーター等の熱源に近い場所
2．ホコリや湿気の多い所
3．傾いたり振動や衝撃の加わる場所
4．温度が0℃以下、40℃以上になる場所

●本機の汚れを落とす際は、乾いた柔らかい布でふいてください。シンナー・ベンジン・アルコールなどの有機溶剤や薬品を使わないでください。
機械が変形したり、変色するなどの原因になります。

●専用タイムカード（ＥＳ－Ｓカード）以外は使えません。又、折れ曲がったり、破れたり、濡れたカードは、絶対に使用しないでください。
故障の原因になります。

●インクリボンは必ず「ＥＲ－ＩＲ101」をご使用ください。

●カードの横のパンチ穴をふさいだり破損させたりしないでください。
本機はタイムカードのパンチ穴を読みとって印字欄を決定しています。

●タイムカードは強く押し込んだり、印字中に抜いたりしないでください。
カードは自動的に引き込まれ、自動的にもどります。

●タイムカードを挿入しない時は必ず防塵ふたをしめてください。
ホコリや異物が入り故障の原因になります。

2 お使いいただく前に

■本機械は、工場出荷時に西暦・月日・時間は設定されていますので20日締のお客さまはその日からご使用できます。また20日締以外のお客さまでも、簡単な操作にて設定ができます。
その他の項目も必要に合わせて取扱説明書に従い簡単に設定できます。

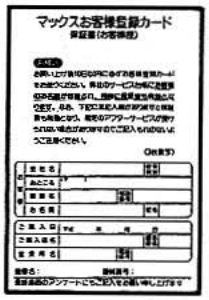
■本書は、操作がわからなくなった時には再度お読みいただけるように、いつでも取り出せる場所に大切に保管してください。

付属品（ご使用前に必ず、お確かめください）

専用タイムカード30枚
（ER-Sカード30枚）

取扱説明書（本書）1冊

お客様登録カード（保証書）
梱包箱に添付



エラーコードシール1枚

エラーコードの早見表です。
本機の側面等に貼って、
ご使用ください。

■ご購入の際、お受け取りにならなかったり、記入事項にもれなどありましたら、ご購入販売店までお申し出ください。

お願い

●お手数ですが、お客様登録カードに所定事項をご記入していただきご投函ください。
マックスお客様リストに登録し、アフターサービスに活用させていただきます。

●操作がわからなくなった時には、本書をお読みいただけますよういつでも取り出せる場所に保管しておいてください。

●次の場合は保証期間中であっても部品代など、当社規定の料金をご請求申し上げます。
- ●保証書がない場合、あるいは保証書の記載事項に不備や訂正がある場合
- ●落下や取扱い上の誤り、不当な改造、修理による故障や損傷
- ●天災や異常電圧などによる故障や損傷
- ●インクリボン・タイムカードなどの消耗品

3 ER-210Sの特長

❶電源を入れたその日から、使用することができます。
西暦・月日・時間・締日（20日）は工場出荷時に設定されています。締日の変更はかんたんにできます。

❷不意の停電や、設置場所の移動によって、電源が遮断された場合でも、工場出荷時から停電累計5年間は、日付や時計・設定内容などのデータを保持します。但し停電時は印字できません。

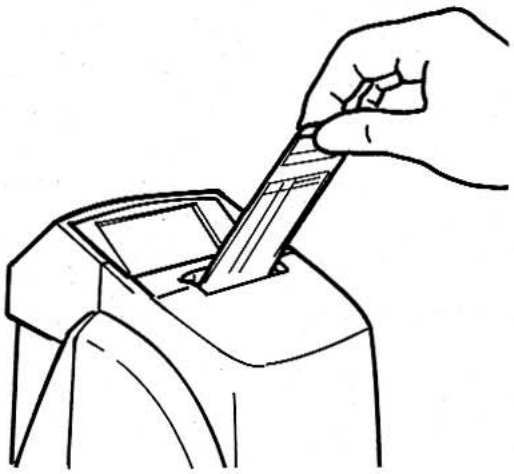
❸通常の出退勤や外出・再入では、ボタン操作の必要ないタイムレコーダです。印字段印字欄の選択は自動的に行われ最大6回まで印字できます。

日付	出	退	出	退	出	退
			出	退		時間数
1月	7:57	12:02ソ	12:58	17:02	18:00	20:00ザ
2火	6:00					20:00ザ
3水	6:00ハ					6:00ザ
4木	9:01チ	12:01ソ	15:01	15:10ソ	18:00	20:00
5金	9:00	18:00				
6土	9:00					21:00ザ
8月	9:00	18:00				
9火	9:00	18:08				
10水	8:53	18:17				
11木	9:00	19:00	20:00			22:00ザ
12金	9:00	18:00				
15月	9:00	18:00				
16火	9:00	18:00				

❹**始業時刻・終業時刻**を設定すれば、遅刻マーク（チ）・早退マーク（ソ）の印字もカードを挿入するだけで自動的に行われます。

❺早出、残業を通常の打刻と区別したい場合も、**早出／残業**ボタンの操作でカードを挿入すると、早出マーク（ハ）、残業マーク（ザ）も印字する事ができます。

❻カードが入れ易い、斜め前方からの挿入方式です。

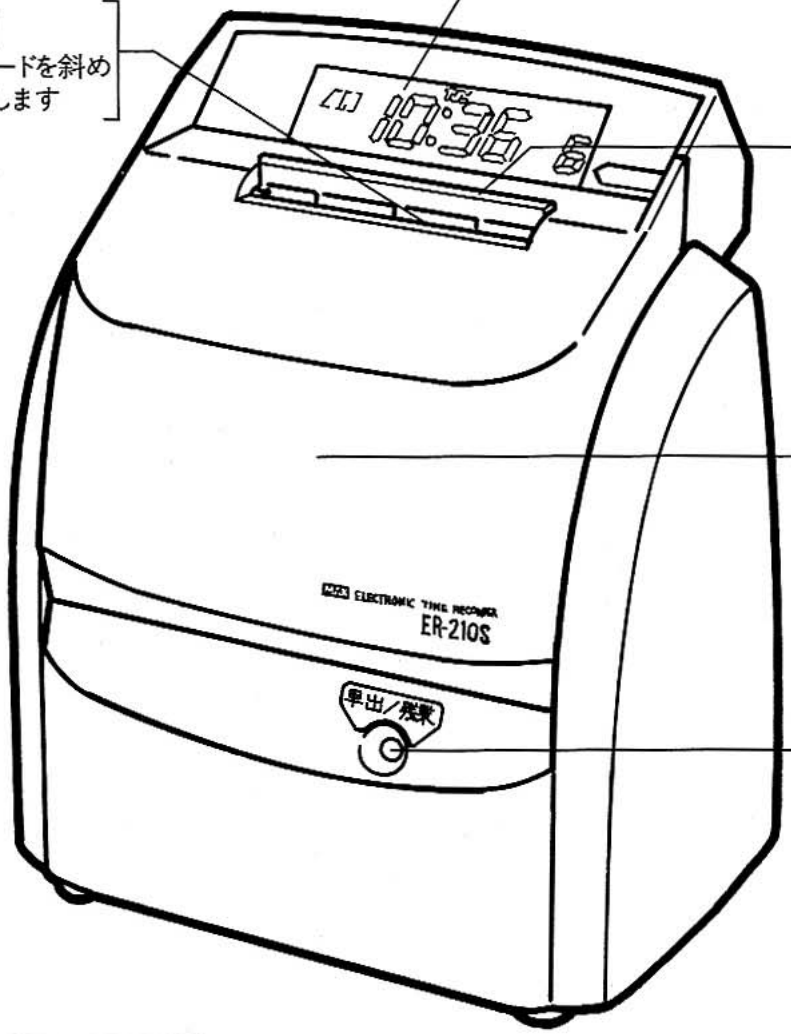


お願い

本機は、自動で印字段及び印字欄を選択しますので、打ち忘れをしないよう注意してください。

4 各部の名称とはたらき

外観



カード挿入口
ここにタイムカードを斜め前方から挿入します

表示部
通常使用時は、日付、時計表示、設定時は、その設定内容表示

防塵フタ
ホコリが入らないようにタイムカード印字時以外フタをします

フロントカバー
設定時やインクリボン交換時に開けます
（開け方はP.11参照）

早出／残業ボタン
早出出勤や残業退勤時に操作します

お願い
早出/残業ボタンの操作は注意を要しますのでP9のメモをよく読んでご使用ください。

時計表示部（表示例）

通常画面

5 日常のタイムカードの使い方

●日常の使い方

通常はボタン操作なしでご使用できます。
出勤、外出、再入、退勤の印字欄選択は専用タイムカード（ER-Sカード）を入れるだけで自動的に機械が判断します。

メモ

タイムカードは軽く差し込めば、自動で適正位置まで引き込み自動で挿入口まで戻ります。

タイムカードの向きをまちがえた場合
エラー表示「E-01」とエラー音“ピッ、ピッ、ピッ、ピッ”を発してカードが挿入口に戻ります。
（エラーコードの説明はP. 24参照）

お願い

カードを印字途中で抜いたりしないでください。

6 早出／残業ボタンの説明

メモ

退勤（2、4打刻目）に、早出／残業ボタンを押して、カードを挿入すると、最終の退勤とみなし、その日に限り以降の印字はできなくなります。

早出／残業ボタンを使う場合、ボタンを押してからカードを入れてください。

印字する欄および、早出／残業ボタンのはたらき

状態	早出／残業ボタン操作	はたらきと印字位置
1打刻目	操作なし	出勤扱いとして、1回目の出（第1欄）に日付とともに時刻を印字します。
	操作あり	早出出勤扱いとして、1回目の出（第1欄）に日付とともに時刻および早出（ハ）マークを印字します。
2打刻目	操作なし	外出扱いとして、1回目の退（第2欄）に時刻を印字します。
	操作あり	残業退勤扱いとして、3回目の退(第6欄)に時刻および残業(ザ)マークを印字します。
3打刻目	操作無効	再入（戻り）扱いとして、2回目の出（第3欄）に時刻を印字します。早出／残業ボタンは、押しても無効です。
4打刻目	操作なし	外出扱いとして、2回目の退（第4欄）に時刻を印字します。
	操作あり	残業退勤扱いとして、3回目の退(第6欄)に時刻および残業(ザ)マークを印字します。
5打刻目	操作無効	再入（戻り）扱いとして、3回目の出（第5欄）に時刻を印字します。早出／残業ボタンは、押しても無効です。
6打刻目	操作なし	退勤扱いとして、3回目の退（第6欄）に時刻を印字します。
	操作あり	残業退勤扱いとして、3回目の退(第6欄)に時刻および残業(ザ)マークを印字します。

印字例

日付	出	退	出	退	出	退
			出	退		時間数
21木	7:56	18:00				
22金	7:30ハ					21:30ヂ

〈操作なし印字例〉
〈早出／残業ボタン操作時印字例〉

日付	出	退	出	退	出	退
			出	退		時間数
26火	7:56	11:56	12:56	17:56		
27水	7:15ハ	12:15	13:15			22:15ヂ

〈操作なし印字例〉
〈早出／残業ボタン操作時印字例〉

日付	出	退	出	退	出	退
			出	退		時間数
1月	7:00	12:00	13:00	17:00	18:00	22:00
2火	8:02ハ	12:02	13:02	18:56	19:56	22:56ヂ

〈操作なし印字例〉
〈早出／残業ボタン操作時印字例〉

メモ

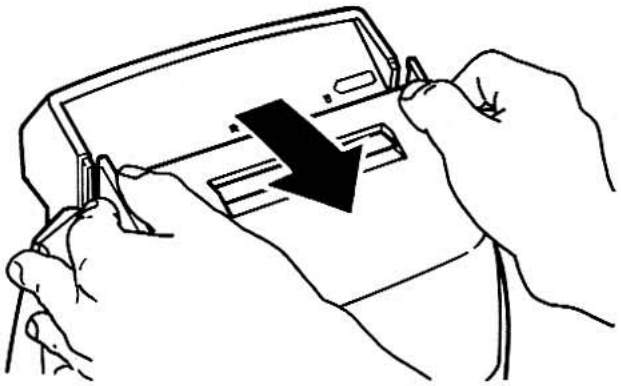
早出／残業ボタンの使い方

- ボタンを押すと、表示右下の（▼）が点灯します。（点灯中にカードを挿入してください。）
- 10秒以内にカードが挿入されない場合取り消されます。
- 10秒以内にもう一度、ボタンを押すと取り消されます。
- エラー表示ex.「E-01」が出た場合取り消されます。
- ボタンを押した直後に挿入されたカードのみ有効です。
- 始業時刻、終業時刻の設定があってもボタンを押すとボタンが優先されます。

7 フロントカバーの開け方・閉め方

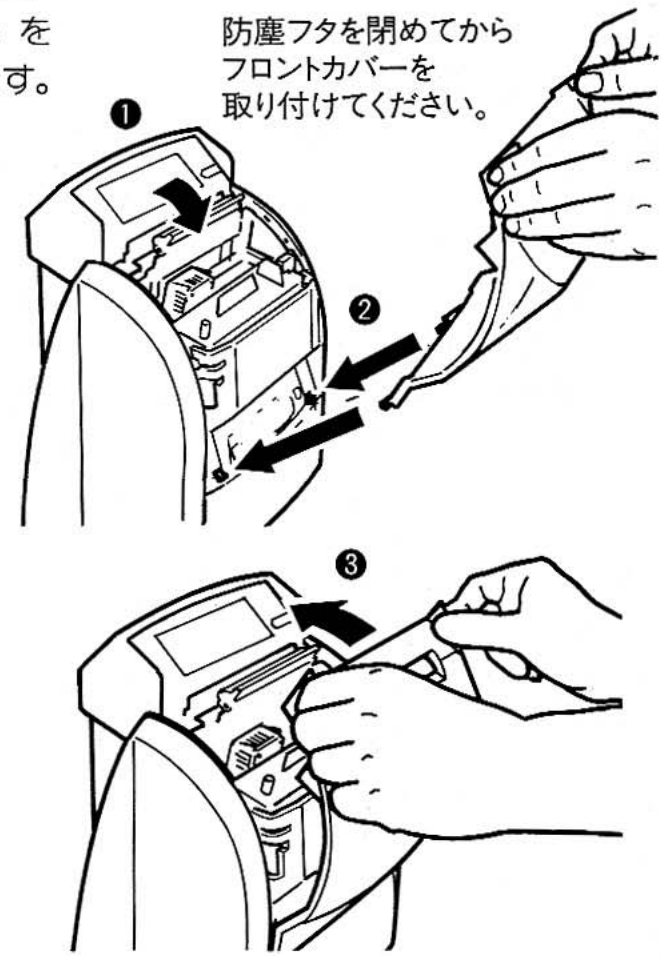
●フロントカバーの開け方

本体を支えながらフロントカバーの上部を手前に引きフロントカバーをはずします。

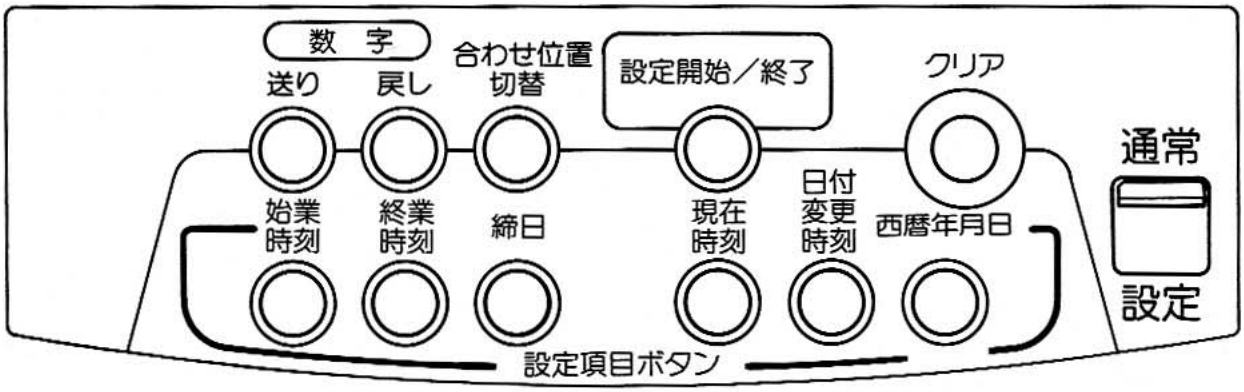


●フロントカバーの閉め方

フロントカバーの取り付けは、本体の防塵フタを閉めてから、下部のツメ（二つの突起部）を先に本体に差し込み、次に上部をセットします。



8 設定キーボード部の説明



	ボタン名	は　た　ら　き
スライドスイッチ	通常	通常（打刻時）の位置です
	設定	各設定を行う位置です
設定項目ボタン	始業時刻	遅刻（チ）マークを印字させる場合に設定します （初期値＝－－：－－）
	終業時刻	早退（ソ）マークを印字させる場合に設定します （初期値＝－－：－－）
	締日	締日を変更する場合に設定します。（初期値＝20日） ＊締日の翌日が、カード前半の最上段に打刻されます
	現在時刻	時計が進んだり、遅れた時に操作します ＊工場出荷時に設定してあります
	日付変更時刻	次の日の段に切り換わる時刻を設定します （初期値＝午前3：00）
	西暦年月日	修理等で日付が初期化された場合に設定します ＊工場出荷時に設定してあります
	数字 送り	設定時に画面に表示された数値を入力する時に使用します ＊点滅表示されている数値を加算していきます
	数字 戻し	設定時に画面に表示された数値を入力する時に使用します ＊点滅表示されている数値を減算していきます
	合わせ位置切替	点滅（設定桁）を移動させる場合に使用します
	設定開始／終了	各設定の開始および終了に使用します　＊この操作をしないで終了した場合、設定の変更は行われません
	クリア	設定値を項目毎に初期設定に戻す場合に操作します （P.14参照）

9 各設定の基本操作

❶前面のフロントカバーをはずします。

❷キーボード部右の、スライドスイッチを“**設定**”位置にします。

❸設定項目ボタンの中から設定する内容を選びます。
（始業時刻、終業時刻、締日、現在時刻、日付変更時刻、西暦年月日）

❹**設定開始／終了**ボタンを押すと、設定を開始します。

❺**数字送り、数字戻し**ボタンで合わせたい数値まで押します。

❻**合わせ位置切替**ボタンを押すと設定している桁が移動します。

❼**設定開始／終了**ボタンを押すと、設定を終了します。
＊他に設定がある場合は❸へ戻って同じように操作をしてください。

❽キーボード部右の、スライドスイッチを“**通常**”に戻します。

❾フロントカバーを取り付けます。

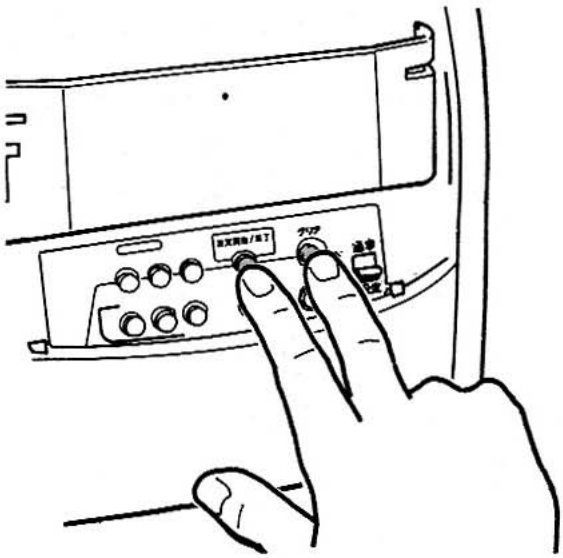
メモ
この時設定項目は自動的に始業時刻になっています。

お願い
時計表示部下の（▼）マークが選んだ項目を示していることを確認してください。

お願い
時刻の設定はすべて24時間制で行ってください。

お願い
この操作を行わないと設定値は変更されません。

設定を簡単に変更されないための方法。



●スライドスイッチを“**通常**”位置にして**クリア**ボタンと**設定開始／終了**ボタンを同時に押します。表示管上の（◎）ランプがつきます。
この表示が点灯中は、**通常／設定**スライドスイッチを、“**設定**”位置に移動しても設定変更はできません。“**通常**”の動作をします。
設定変更したい場合は再度**クリア**ボタンと**設定開始／終了**ボタンを同時に押します。表示管上の（◎）ランプが消えます。

クリアキーの使い方

●**遅刻マーク（チ）を打たないようにしたい場合**
1.スライドスイッチを“**設定**”にします。
2.**始業時刻**ボタンを押します。
3.**設定開始／終了**ボタンを押します。
4.**クリア**ボタンを押します。
初期値の表示（－－：－－）になったことを確認して終了です。

●**早退マーク（ソ）を打たないようにしたい場合**
1.スライドスイッチを“**設定**”にします。
2.**終業時刻**ボタンを押します。
3.**設定開始／終了**ボタンを押します。
4.**クリア**ボタンを押します。
初期値の表示（－－：－－）になったことを確認して終了です。

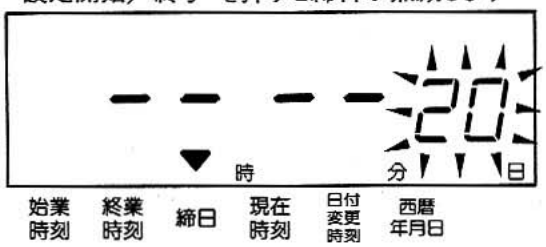
締日の変更

締日とは、タイムレコーダの、月度の区切りです。工場出荷時は20日に設定されています。
21日（締日の翌日）がタイムカード前半の最上段に印字されます。

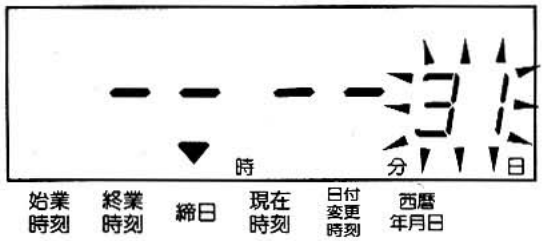
〈設定例〉月末締めに変更したい場合、
31日と設定します。

●スライドスイッチを“**設定**”にします。
●設定項目ボタンの“**締日**”を押します。
（▼）マークが**締日**の所に点灯します。
❶ “**設定開始／終了**”を押します。

“設定開始／終了”を押すと締日が点滅します

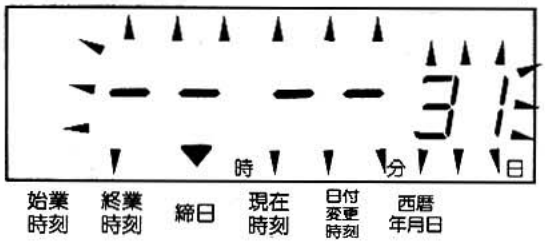


❷ “**数字送り**”で31になるまで押します。



❸ “**設定開始／終了**”を押します。
（設定値が変更されます。）

（表示全体が点滅します）



お願い

締日を月末にしたい時は「31日」と設定してください。

時計の合わせ方

現在時刻は工場出荷の際にすでに設定されていますから、設定の必要はありませんが、時計が進んだり、遅れたりした時に時報などに合わせ操作してください。

〈設定例〉機械の時計表示　午前11時58分
　　正確な時間　午後12時2分に合わせる場合

●スライドスイッチを“**設定**”にします。
●設定項目ボタンの“**現在時刻**”を押します。
　（▼）マークが**現在時刻**の所に点灯します。
❶“**設定開始／終了**”を押します。

“設定開始／終了”を押すと〔時〕が点滅します

❷“**数字送り**”で12になるまで押します。

❸“**合わせ位置切替**”を押します。

“合わせ位置切替”を押すと〔分〕が点滅します

❹“**数字送り**”で02になるまで押します。

❺“**設定開始／終了**”を押します。
　（設定値が変更されます。）
＊時計は、0秒スタートします。

（表示全体が点滅します）

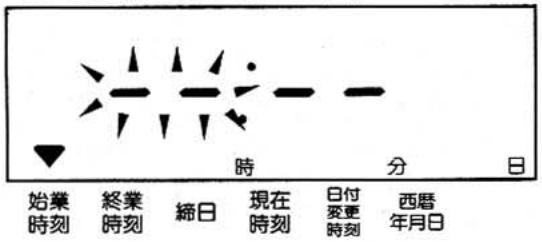
遅刻を区別したい(始業時刻の設定)

通常出勤と遅刻を区別したい場合に設定します。始業時刻を設定すると、始業時刻後の出勤は、遅刻と判断して、遅刻マーク（チ）が印字されます。

〈設定例〉午前8時30分を設定したい場合。
（8：30）と合わせます。

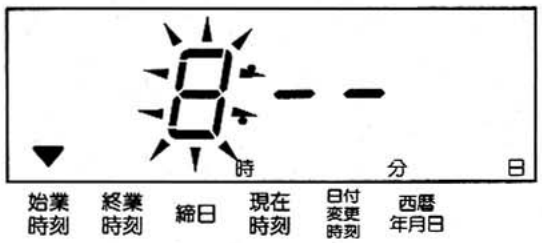
●スライドスイッチを“**設定**”にします。
この時、設定項目は自動的に**始業時刻**になっています。
（▼）マークが**始業時刻**の所に点灯します。

“設定開始／終了”を押すと〔時〕が点滅します



❶ “**設定開始／終了**”を押します。

❷ “**数字送り**”で8になるまで押します。



❸ “**合わせ位置切替**”を押します。

“合わせ位置切替”を押すと〔分〕が点滅します

❹ “**数字送り**”で30になるまで押します。

❺ “**設定開始／終了**”を押します。
（設定値が変更されます。）

（表示全体が点滅します）

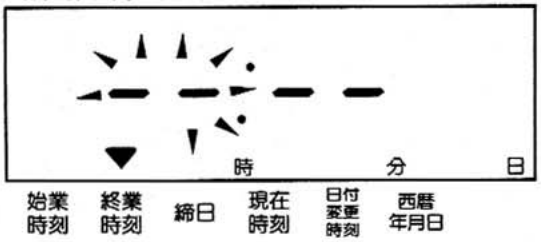
早退を区別したい(終業時刻の設定)

通常退勤と早退を区別したい場合に設定します。終業時刻を設定すると、終業時刻前の退勤打刻は、早退と判断して、早退マーク（ソ）が印字されます。

〈設定例〉午後6：30と設定したい場合
（18：30）と合せてください。

●スライドスイッチを“**設定**”にします。
●設定項目ボタンの“**終業時刻**”を押します。
（▼）マークが**終業時刻**の所に点灯します。
❶“**設定開始／終了**”を押します。

“設定開始／終了”を押すと〔時〕が点滅します



❷“**数字送り**”で18になるまで押します。

❸“**合わせ位置切替**”を押します。

“合わせ位置切替”を押すと〔分〕が点滅します

❹“**数字送り**”で30になるまで押します。

❺“**設定開始／終了**”を押します。
（設定値が変更されます。）

（表示全体が点滅します）

日付変更時刻の変更

日付変更時刻とは、タイムレコーダの1日の区切りの時刻です。工場出荷時は午前3：00に設定されています。午前3：00から翌日午前2：59までを同一日として、タイムカードの同じ段に印字します。

〈設定例〉午前5：05に変更したい場合。
（5：05）と設定します。

●スライドスイッチを“**設定**”にします。

●設定項目ボタンの“**日付変更時刻**”を押します。
（▼）マークが**日付変更時刻**の所に点灯します。

❶“**設定開始／終了**”を押します。

“設定開始／終了”を押すと〔時〕が点滅します

❷“**数字送り**”で5になるまで押します。

❸“**合わせ位置切替**”を押します。

“合わせ位置切替”を押すと〔分〕が点滅します

❹“**数字送り**”で05になるまで押します。

❺“**設定開始／終了**”を押します。
（設定値が変更されます。）

（表示全体が点滅します）

西暦年月日の設定

西暦年月日は、工場出荷時に合せてあります。バッテリー交換等の修理で合っていない場合、以下の方法で設定してください。
＊曜日は、自動設定されます。

〈設定例〉94年11月25日に設定したい場合。
（西暦は、下2桁を設定します。）

●スライドスイッチを“**設定**”にします。
●設定項目ボタンの“**西暦年月日**”を押します。
（▼）マークが**西暦年月日**の所に点灯します。

❶ “**設定開始／終了**”を押します。

“設定開始／終了”を押すと〔年〕が点滅します

❷ “**数字送り**”で94になるまで押します。

❸ “**合わせ位置切替**”を押します。
“数字送り”で11になるまで押します。

“合わせ位置切替”を押すと〔月〕が点滅します

❹ “**合わせ位置切替**”を押します。
“**数字送り**”で25になるまで押します。

“合わせ位置切替”を押すと〔日〕が点滅します

❺ “**設定開始／終了**”を押します。
（設定値が変更されます。）

（表示全体が点滅します）

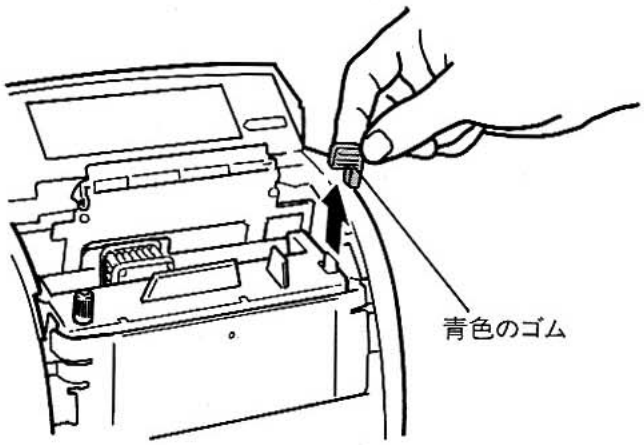
10 保守

インクリボンの交換方法

印字がうすくなったら早めに専用インクリボン・ER-IR101（別売）と交換してください。
＊インクの補充はできません。お求めは、タイムレコーダをお買い上げになったお店またはお近くの文具・事務機販売店にご用命ください。

⚠ 注 意

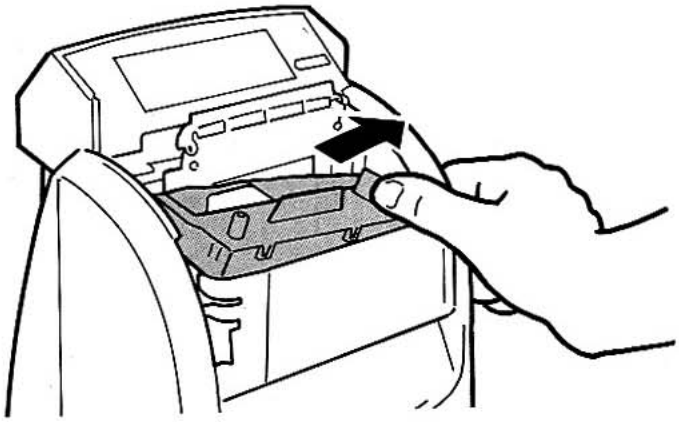
- ●プリンタヘッドには絶対にさわらないでください。印字直後のプリンタヘッダは高温になっており、やけどの原因になります。
- ●インクリボンの交換の際には、必ず電源プラグを抜いてください。本機が不意に動作した時、けがの原因になります。

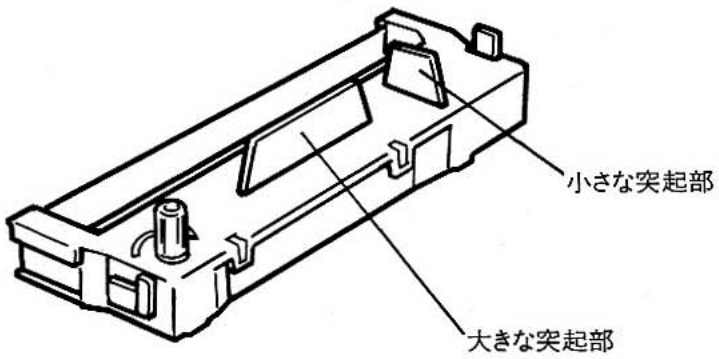


参照

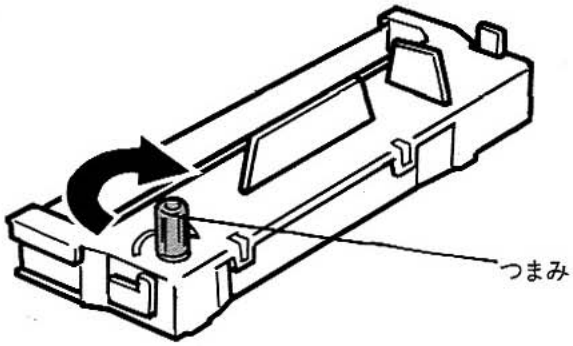
❶フロントカバーをはずします。（P.11参照）
＊インクリボン右側の青色のゴムをはずします。（輸送中のはずれ防止のためのものです。再度取り付ける必要は、ありません。）

❷リボンカセットの大きな突起部と小さな突起部の間に右手の親指を入れて矢印の方向に押しつけます。
はずれたら上に引きあげます。

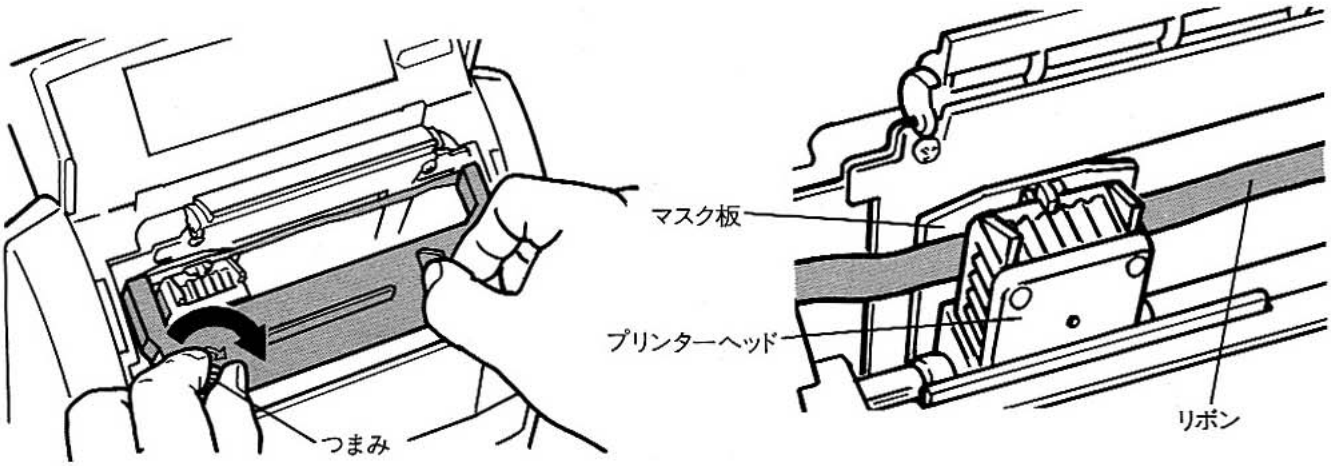




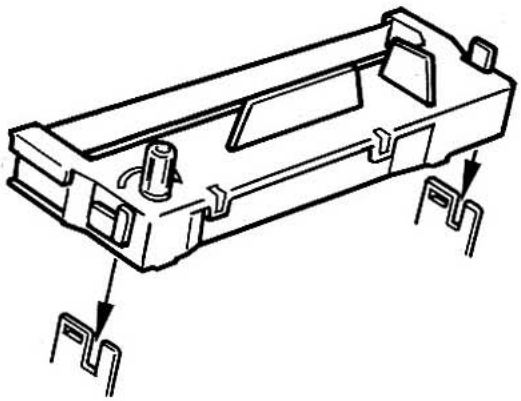
❸新しいリボンカセットを取りだし、つまみを矢印の方向に回して、リボンのたるみを取ります。（エンドレスリボンです。たるみを取るために巻き取った部分も使えます。ピンと張るまで充分に巻いてください）



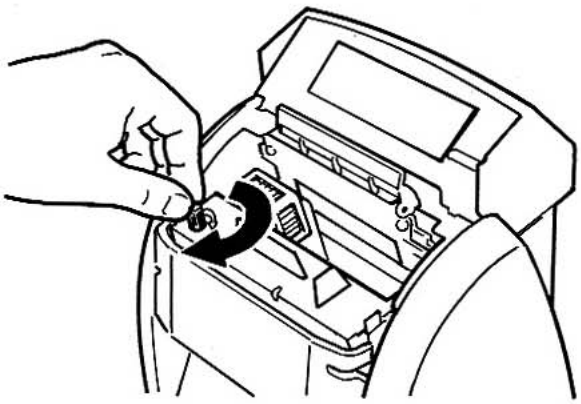
❹リボンカセットのつまみを回してリボンのたるみを取りながら、リボンがプリンターヘッドとマスク板の間になるように入れます。



❺カセットのツメをカセット台の左、右の溝に合わせセットします。



❻リボンカセットのつまみを矢印の方向に回して、リボンのたるみを取ります。
この時、リボンが正しくセットされているか、リボンのねじれがないか確認してください。



参照

❼防塵フタを閉めてからフロントカバーを取り付けます。(P.11参照)

❽電源コードを差込み、未使用のタイムカードを入れて印字が正常であることを確認してください。

こんな時には

故障と思われる前にご確認ください

現　　象	チェック方法	処　　置
表示しない	●電源プラグはコンセントに差し込まれていますか	電源プラグを確実にコンセントに差し込んでください
カード印字しない	●通常／設定切換のスライドスイッチは“通常”ですか	スライドスイッチを通常の位置に確実に戻して下さい（ピッと音がします）
	●インクリボンを正しくセットしていますか	インクリボンを正しくセットしてください 参照 (P.21参照)
タイムカードが入らない	●カードの曲がり、破損はないですか	新しいカードをご使用ください
カードが入ったまま出てこない	●印字途中、電源コードが抜かれていませんか	電源コードを抜き、差し込み直してください
印字する段がずれる	●印字中に押し込んだり、ひっぱったりしていませんか	カードは自動送りされますので軽く差し込んでください
	●カードが湿っていませんか	設置場所を変えてください
印字がうすい	●インクリボンを永く使っていませんか	インクリボンを新しいものと交換してください
	●インクリボンを正しくセットしていますか	インクリボンを正しくセットしてください 参照 (P.21参照)
時計が進んでいる／遅れている場合	●極端に寒い場所や、暖かい場所で使用していませんか	設置場所を変えて時計を合せてください 参照 (P.16参照) 常温25℃で月差±15秒に合わせています

●以上の処置を行っても、正常に復帰できない場合は、お買い上げ店またはお近くのマックサービス(株)窓口まで、ご相談ください。

エラー表示と原因

カード操作中に、エラー音（ピッピッピッピッピッ）が鳴りエラー表示をします。エラーコードを確認して処置を行ってください。

エラーコード	内　容	処　置
E-00	自動送りされる位置まで、タイムカードが入っていない	タイムカードが自動送りされるまで、軽く押込んでください
E-01	カードの表裏上下が間違っている	カードを正しい向きで入れてください
E-02	パンチ穴が正常に読めない	カードの曲がり、破損はないですか
E-04	すでに退勤打刻（6打刻目の印字）が終了しています	
E-05	本日の使用人数が150名を越えています	
E-69	自動送りされても、カードがスムースに入っていかない	カードが自動送りされたら、手を離してください。カードの曲りなどがないか確認してください
E-EE	プリンター異常	電源プラグを抜き差ししてください

お願い

専用タイムカード「ER-Sカード」かどうか確認してください。

11 商品仕様

商品名	マックス電子タイムレコーダ ER-210S
電源	AC100V　50／60Hz
外形寸法	幅207×奥行147×高さ262（mm）
重量	3.0kg
消費電力	通常10W　最大20W
時計機構	水晶発振式（月差±15秒；常温25℃）
表示管	蛍光表示管
表示内容	日、曜日、AM／PM、時分、（：）、（▼）、（◎） （エラーコード表示）
印字方式	インパクトドット方式
印字内容	日、曜日、時分、（チ）、（ソ）、（ハ）、（ザ）
メモリー保持	工場出荷時より停電累計5年間
使用人数	最大150人
タイムカード	専用カード「ER-Sカード」
インクリボン	専用インクリボンER-IR101
使用温度	0℃～40℃
保存温度	−20℃～60℃

■製品改良のために、仕様・外観などが予告なく変更になる場合があります。
ご了承ください。

12 保証書とアフターサービス

■保証書について

●保証期間中万一故障した場合、保証書記載内容に基づき無料修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間後の修理はお買い求めの販売店、当社営業所、またはマックスサービス㈱窓口にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。

●お客様登録カード：お買い上げ後、必ずお客様登録カードをお送りください。当社のサービス台帳にお客様の名前が登録され、同時に保証書も有効になります。

■アフターサービスについて

●お買求めの販売店、または当社営業所、マックスサービス㈱にご相談ください。

●出張修理：サービスマンを派遣し修理いたします。なお、料金はその都度お支払いただきます。(地域によって出張できない場所もありますので、当社営業所、またはマックスサービス㈱にご相談ください。)
修理代（技術料＋部品代）に出張料をプラスしてご請求申し上げます。

●持込修理：修理品を販売店、またはマックスサービス㈱窓口にお持ち込みください。